



畑と海を守る 持続的な取り組み

石垣市赤土等流出防止営農対策地域協議会

目次



1. はじめに ～ 石垣島の現状
2. 赤土問題どうすれば？ ～かかえる課題
3. 解決に向けた石垣島での取り組み
4. 取り組みの結果
5. まとめ

石垣島の現状



赤土等の流出

赤土等の海への流出は、約8割が農地からとされており、農地からの赤土の流出は、農作物を育てる大切な土壌を失うことにもなっています。



石垣島の現状

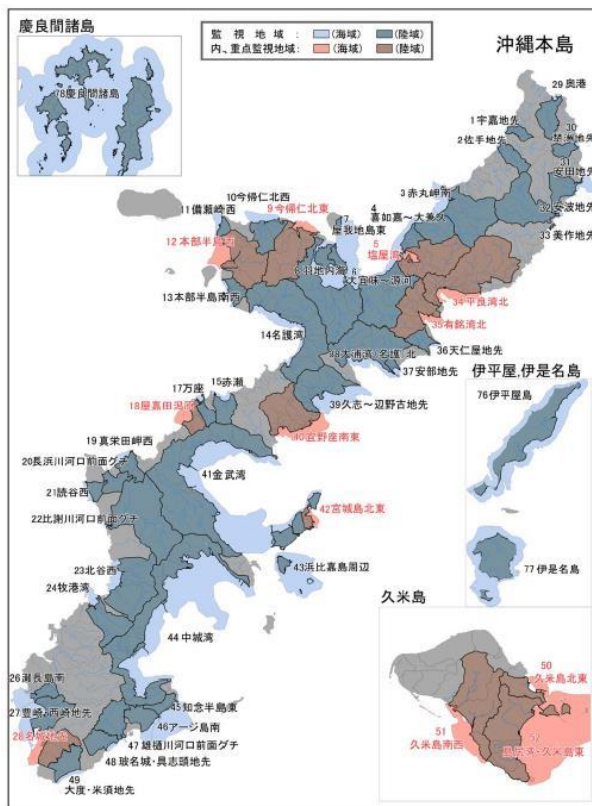


図 3-5 監視地域及び重点監視地域位置図(1/2)

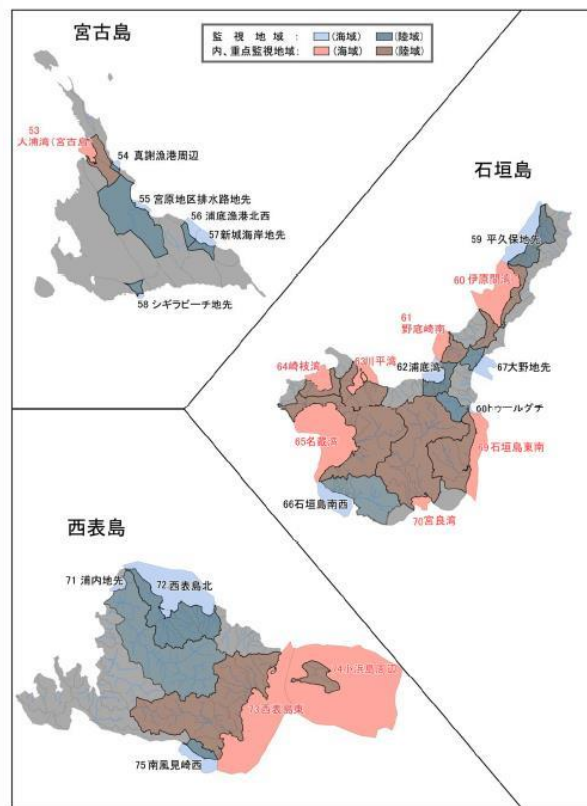


図 3-6 監視地域及び重点監視地域位置図(2/2)

「第2次沖縄県赤土等流出防止対策基本計画」
重点監視地域

- 県全域 … 22地域
- 石垣市 … 7地域

[石垣島の農地]

- ・ 耕地面積が広い
- ・ 傾斜地が多い
- ・ ほとんどが国頭マージ

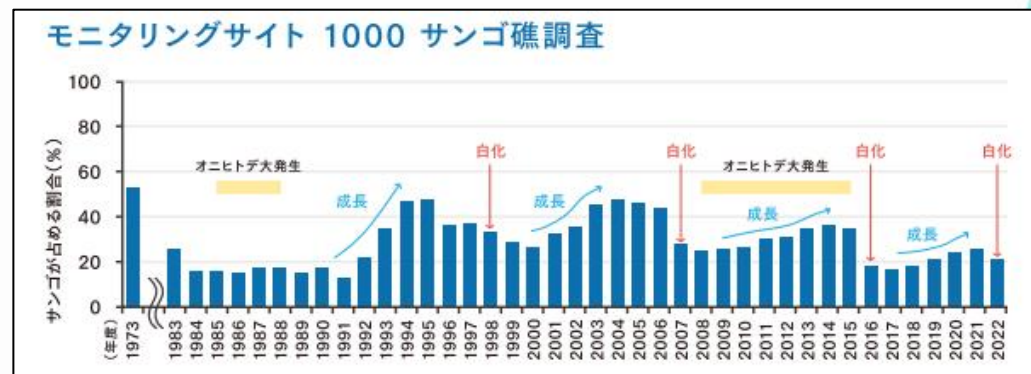
石西礁湖

西表石垣国立公園に含まれた、東西約30km、南北20kmに亘る日本最大規模のサンゴ礁海域。



出典：「石西礁湖自然再生全体構想行動計画2024-2028」石西礁湖ポータルウェブサイト (<http://sekiseisyouko.com/szn/index.html>)
PDL1.0 (<http://sekiseisyouko.com/szn/kousou.html#plan>)

「——石西礁湖」



出典：「石西礁湖自然再生全体構想行動計画2024-2028」石西礁湖ポータルウェブサイト (<http://sekiseisyouko.com/szn/index.html>)
PDL1.0 (<http://sekiseisyouko.com/szn/kousou.html#plan>)

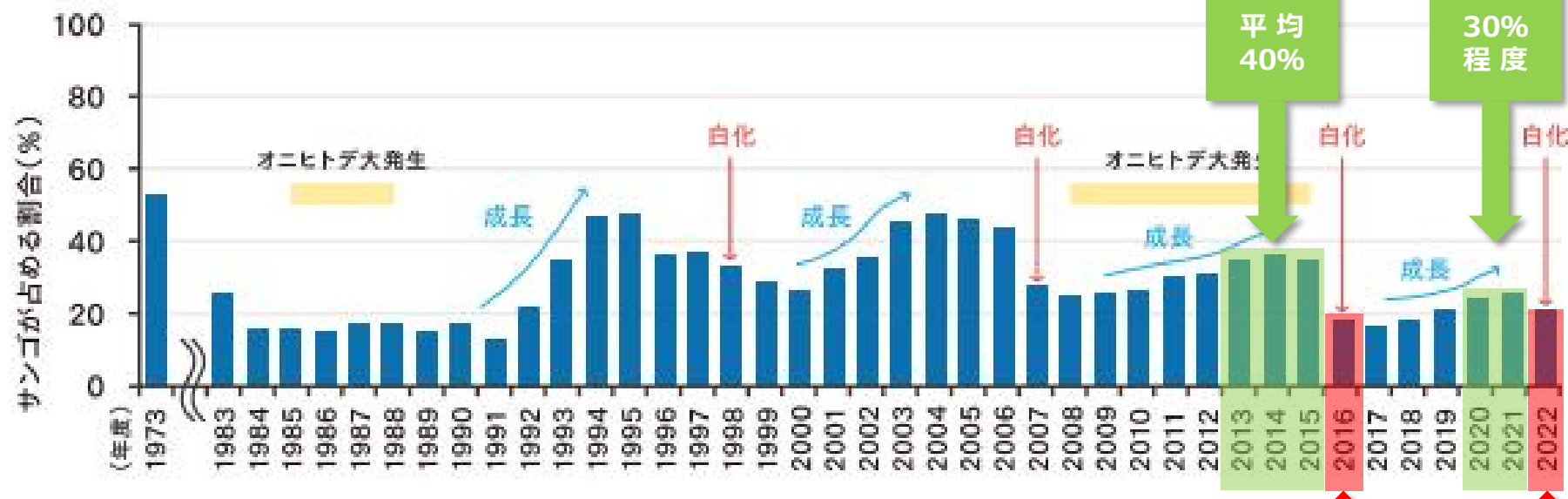
【サンゴが占める割合の推移】

- ・ 大規模白化が9年周期から6年へ短期化
- ・ 2022年時点で約20%の被度
- ・ 減少と回復を繰り返しつつも長期的には減少傾向

石西礁湖

西表石垣国立公園に含まれた 東西約30km 南北20kmに

モニタリングサイト 1000 サンゴ礁調査



出典：「石西礁湖自然再生全体構想行動計画2024-2028」石西礁湖ポータルウェブサイト (<http://sekiseisyouko.com/szn/index.html>)
PDL1.0 (<http://sekiseisyouko.com/szn/kousou.html#plan>)

「——石西礁湖」

・減少と回復を繰り返しつつも長期的には減少傾向

土流出防止プロジェクト
red soil runoff prevention project

赤土問題どうすれば？ ～かかえる課題

圃場での課題



- 赤土等の流出は、農地からが約8割とされていることから、圃場での対策が重要である。
- 圃場を管理する農家が主体的に対策を行うことが望ましいが、高齢、小規模経営の農家が多く、赤土対策にかかる労力や費用負担が大きく困難。
- 積極的に赤土対策を行う農家は増えてはきているが、今後も継続維持をさせ更に促進していく必要がある。

地域での課題



- 赤土問題やその影響、防止対策について、正しい理解や認識がまだ乏しい。
- 危機に瀕した石垣島のサンゴについて、多くの方が環境保全への関心が高いが、サンゴ保全について何をどう実行に移せばいいのか、具体的な取り組みを模索してる。

どうすれば？

私たちは、この豊かな自然環境から計り知れない恩恵を受けている。

自然要因が大きい赤土問題は、環境保全の観点からも、農家だけの負担にするのではなく、多くの方が協働でこの問題に取り組んでいく必要がある。

一人ひとりが出来ることつなぎ多くの方の力で、この島の自然を守り続ける社会を作っていく事が重要である。

石垣島での取り組み

グリーンベルト

赤土対策の一つに、圃場の周囲にベチベルという植物をベルト状に植栽することで、赤土等の流出を約50%削減する事が出来るグリーンベルトという対策があります。

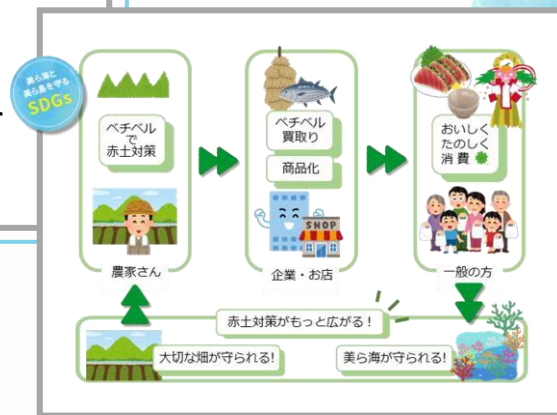


赤土対策に適した特徴

- 種子は発芽能力がないため、雑草化の心配がない。
- 踏みつけに強く、トラクターで踏んでも再生する。
- 伸びた草丈は刈取り、敷草にも活用できる。
- 防風垣の役割もあり、病虫害や雑草の侵入を防げる。
- 生長が早いため、ベルト状形成が容易。

ベチベルの価値を見だし、2次活用を行うことで商品化へとつなげる取り組みを行っています。

農家だけではない 持続的な取り組み



赤土対策から農家が収益を得られることで、対策にかかる費用負担を軽減させ、積極的な対策の促進へとつなげる取り組みです。

03 ベチベルを活用した 鰹の藁焼き



石垣島では、乾燥させたベチベルを農家から水産業者が買い取り、そのままでも美味しい新鮮な日戻り鰹を、稲藁の代わりにベチベルで炙り焼きにし商品化を行い、水産直売所や飲食店にて販売を行っています。

(有)マルゲン水産
石垣市新栄町52-20



直売所 3店舗
飲食店 7店舗



- ・ 開 始……令和3年
- ・ 販売期間…… 6～9月頃

毎年初水揚げ時には、問合せが多数あり、開店前から行列ができます。

ベチベルを活用した 鰹の藁焼き

特 長



- 稲藁より焼きのレベルがUP。
- 火力が非常に強い。
- 短時間で焼き上げが可能。
表面のみに火が通り、旨味が凝縮。
- ベチベルの煙で燻す。
カツオ特有の臭味が消え、藁焼きの
香りで感動の美味しさに。

反 応



- 販売店舗では、連日完売。
- 魚が苦手な子供でも、喜んで食べるとの声が
多数寄せられている。
- リピーター、常連客、藁焼きファンが定着している。
- 販売数も年々増加。
- 鰹の期間は、圧倒的な藁焼き人気で、鮪の売
上げが減っている。
- 鰹以外の食材でも商品化の可能性があり、注
目を集めている。

ベチベルを活用した 鰹の藁焼き



お魚まつり



- 毎年11月に開催
- マグロの藁焼きを実演販売
- 販売開始前から行列
- 販売開始後約30分で完売
- 炎と煙で会場での集客は抜群

主催：八重山漁協青年部

ベチベルを活用した 鰹の藁焼き

メディア掲載

	BS朝日 ・魚が食べたい！ ～地魚さがして3000港
	RBC琉球放送 ・つなごう沖縄+ ・RBC NEWS ・Aランチ
	RBC iラジオ ・具志堅ストアー
	沖縄タイムス
	八重山毎日新聞
	八重山日報
	全国郷土紙連合

YouTube	YouTube
 チャンネル登録者数51.2万人 再生回数11.3万回	・ハイサイ探偵団の休日
 チャンネル登録者数1.63万人 再生回数14.7万回	・カフーカTV
 チャンネル登録者数6.35万人 再生回数2.3万回	・沖縄魚突俱樂部OSC

他

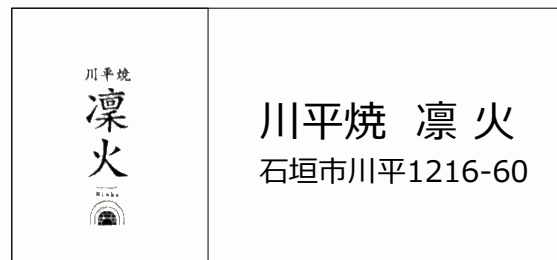


漁獲量が減り続けている現在、海の資源を守りたいと願う水産業と陸域の負荷について、こうして協力し合えるという事は、とても大切な一歩であり、また一般の消費者が美味しい鰹の藁焼きを食べる事で赤土問題へ協力できるという事は、地域を巻き込んだSDGsにもつながります。

03 ベチベルを活用した やちむん



今まで行った事のない分野へ挑戦する事で、新しい活用法や価値を見いだせるのではないかと考え、同じ赤土を扱うやちむんに注目し、制作することとなった。



赤土問題の改善に賛同し制作された作品には、石垣島で起きている環境問題に取り組むといった付加価値が付く。また、一般の消費者は、作品を通して赤土問題について知るきっかけとなり、更に購入することで協力することができる。



03 ベチベルを活用した やちむん



特 長

- 稲藁より素材が柔らかいため扱い易い。
- 稲藁で焼成した場合と違い、ベチベル特有の仕上がりとなる。
- 一点ごとに異なる表情が表れるため、唯一無二の一点ものの器となる。
- あつかい方次第で、様々な表現方法の作品を作り出せる。

焼成方法

稲わらの代わりにベチベルを使用し、火襦（ひだすき）という焼成方法で制作。

【火襦】 ひだすき



Google画像検索より引用

火襦（ひだすき）とは、稲わらを器に巻き付け焼き、稲わらが燃える際に成分が化学反応を起こし、模様がつく焼成方法。備前焼などが有名。

03 ベチベルを活用した やちむん

特長

焼成方法

稲わらの代わりにベチベルを使
という焼成



検索より引用

は、稲わらを
稲わらが燃

える際に成分が化学反応を起
こし、模様がつく焼成方法。備
前焼などが有名。

あつかい次第で、様々
な表現方法の作品を作り
出せる。



赤土流出防止プロジェクト
red soil runoff prevention project

ベチベルを活用した やちむん



特長



な表現方法の作品を作り
出せる。

焼成方法

の代わりにベチベルを使
火燵(ひだすき)という焼成
で制作。

【火燵】ひだすき



Google画像検索より引用

火燵(ひだすき)とは、稲わらを
巻き付け焼き、稲わらが燃
焼時に成分が化学反応を起
こし、模様がつく焼成方法。備
前焼などが有名。

ベチベルを活用した やちむん

特長

焼成方法

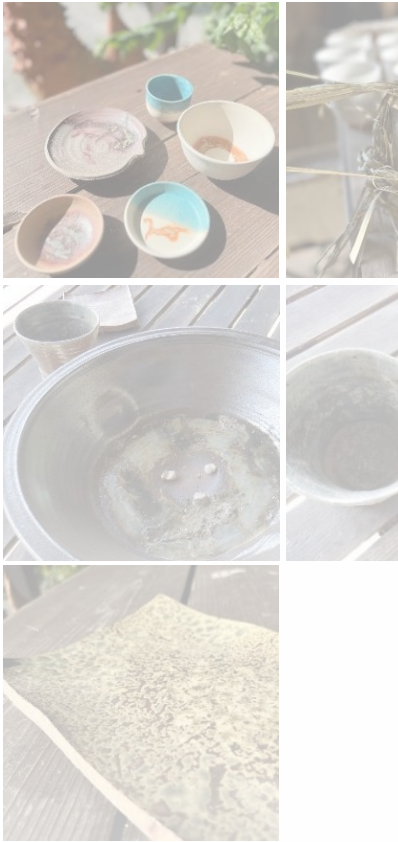


あつかい方次第で、様々な表現方法の作品を作り出せる。

るを燃
える際に成分が化学反応を起こし、模様がつく焼成方法。備前焼などが有名。

ベチベルを活用した やちむん

ふるさと納税返礼品



「畑と海を守るシーサー」



焼成方法

稲わらの代わりにベチベルを使用し、火罨(ひだすき)という焼成方法で制作。

【火罨】ひだすき



Google画像検索より引用

火罨(ひだすき)とは、稲わらを器に巻き付け焼き、稲わらが燃える際に成分が化学反応を起こし、模様がつく焼成方法。備前焼などが有名。

は長年、この方法で作品を出せる。



赤土流出防止プロジェクト
red soil runoff prevention project

動き出した ベチベルの活用法

しめ縄



民具



燻製料理



会場装飾

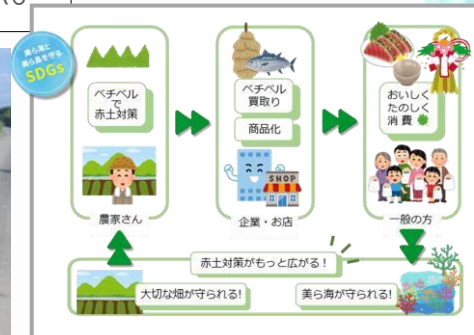
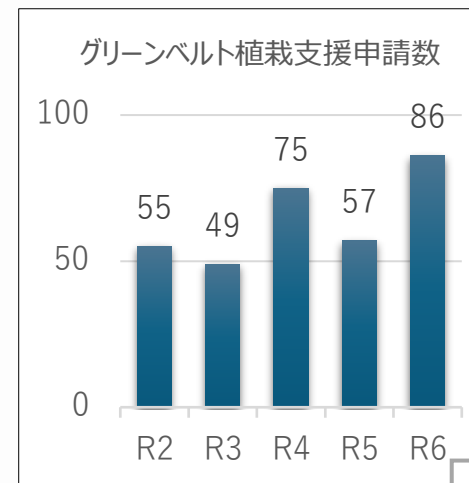
アレンジメント



Instagram / fukugiya 花屋 福木屋より引用

取り組みの結果

- ベチベルの2次活用を行い商品化することで、ベチベルの価値が以前より見直されている。
- ベチベルの新たな活用方法が、生み出されている。
- 農地においても、赤土対策へ理解を示し積極的に対策を行う農家が、石垣市では増えてきている。
- 地域住民へは、石垣島の畑と海を継続的に守る活動への、機会創出になっている。
- 赤土問題に関心であったであろう年齢層などへの周知にもつながっている。



今、私たちにできること

近年、地球規模での環境悪化が深刻化しています。
そしてその影響は、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。

沖縄県における赤土問題に関しても、同じことが言えるでしょう。
我々は、とても大きな課題に挑戦しようとしています。
石垣市赤土協議会が進めているこの取り組みも、全体から見ればほんの僅かな
事でしかないのかもしれませんが。
ですが、「大切な島の土だから、大切な海へは流さない。」
それが当たり前になる社会を目指し、一人ひとりが協力し合い問題の改善、
解決に向けた行動を今、起こさなければなりません。

沖縄のこの豊かな自然環境を当たり前と思わず誇りに思い、
私たちの手で大切に守り続けながら未来へ繋げて行くため、
今後も、畑と海を守るこの活動を多くの方へ広く浸透させていきたいと考えています。





ご清聴ありがとうございました。

石垣市赤土等流出防止営農対策地域協議会